

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2016年2月3日		
所属学部	文学部		
所属学科・専攻	国際言語文化学科		

1. 留学先について

留学先大学名	金剛大学校 (Geumgang University)			
留学先所属学部等	通商行政学部 日本語通翻訳学科			
留学期間	出発日 2015.2.25	入学日 2015.3.1	修了日 2015.12.18	帰国日 2016.1.11
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他()	
	通学時間	講義棟まで7分		<input checked="" type="checkbox"/> On campus
	通学方法	徒歩		
	居室スペース	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> (2) 人部屋 <input type="checkbox"/> その他()		
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> リビング <input checked="" type="checkbox"/> その他(ランドリー)		
食事	自炊 10 %	学食 75 %	外食 10 %	その他 5 % (配達) * %で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	朝日火災海上保険 海外旅行保険		
	大学指定の保険(名称)	韓国 国民健康保険 外国人健康傷害保険		<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入
	その他			
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)			
	東京(成田・羽田) ⇄ ソウル(飛行機) ⇄ 論山(鉄道or高速バス)			

2. 留学にかかった費用について

総費用	500,000	円	* おおよそでかまいません。					
出処								
自費	<input checked="" type="checkbox"/> 貯金	70,000	円	<input checked="" type="checkbox"/> アルバイト	180,000	円	<input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親	150,000	円	<input checked="" type="checkbox"/> 家族・親戚	100,000	円	<input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input type="checkbox"/> JASSO		円	<input type="checkbox"/> その他名称()			円	
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金		円	<input type="checkbox"/> その他()			円	

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	15,000	円	<input type="checkbox"/> その他()	円
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input checked="" type="checkbox"/> キャッシング	<input type="checkbox"/> その他()		

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	特になし
住居にかかった費用	100,000円(現金)
その他	

2-3. 内訳 * 外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			30,000	円
海外旅行保険			80,000	円
OSSMA			30,000	円
査証・在留許可証			0	円
住居			100,000	円
食費	韓国ウォン	950,000	95,000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費	韓国ウォン	150,000	15,000	円
その他大学に支払った経費				円
光熱費			0	円
その他 (文化体験)	韓国ウォン	120,000	12,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面 ***必ず、後日、留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。**

履修科目名 *全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位互換認定 申請の有無
1 韓国語学堂	正規	26	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
2 日本語現代文法 I	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3 中級日本語作文	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
4 日本現代事情	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
5 日本語プレゼンテーション	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
6 現代韓日関係史	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
7 グローバル外国語(英語) I	正規	1	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
8			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
9			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
10			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
11			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
12			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
13			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
14			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
15			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
16			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
17			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
18			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
19			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
20			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

事前にガイダンスのようなものはないので、留学生担当の職員の方に聞いたり、韓国人の友達に教わりました。千葉大同様、「登録期間」「修正期間」「取消期間」があり、時間をかけて受講の検討ができます。登録・修正はネットからできるのですが、取り消しには担当教員のサインが必要なため、少々手間がかかります。そのため、登録の段階から受講経験者から話を聞いたりして、むやみに登録しすぎないようにアドバイスされました。かなり小規模な大学ゆえ、授業数は少なく、留学生向けの授業というものも存在しません。外国人向けの語学堂か、ネイティブ向けの授業という2択しかなく、両極端です。

3-2. 授業内容、方法に関して

語学堂:大学付属の韓国語学校で、大学内の教室を使っていました。初級・中級・上級の3クラスに分かれており、学期前にクラス分けテストが行われます。ソウルの西江大学校が制作した韓国語の教科書を使用し、15人程度のクラスで授業が進められます。火曜～金曜の8:30～12:30 学科:主に韓国人学生向けの日本(語)関連の授業を受けていました。進め方や試験の方法も日本のスタイルとよく似ているため、これといった違いや特徴はありません。違うのは、学部の授業のほとんどが3時間(3コマ連続)で1ブロックとなっており、途中で休憩を挟むとはいえかなり長く感じる点です。

3-3. 語学力について

午前中に語学堂、午後に学部の授業と、レベル・領域・授業スタイルの違うものを平行して受講してきました。語学堂の初級・中級・上級クラスではそれぞれ韓国語能力試験(TOPIK)の2級,4級,6級(6が最高)を目標とした授業を行うので、上級クラスを終えた私は5級か6級に合格できる程度まで上達したと思います。それでもやはりネイティブばかりの学部の授業はきついです。街にでかけたとき、国内旅行では困らなかったのですが、旅行レベル以上はあるかと思います。

3-4. 図書館など学内施設について

学生数に対してかなり大きい図書館をもっています。勉強用の机も十分にあるため、取り合いになることはほとんどありません。スポーツジムには本格的な筋トレマシンやランニングマシンがあり、自由に使うことができます。寮の地下にはカラオケ2部屋もあり、50円で2曲歌えます。ライトアップやミラーボールもあり、本格的です。学校の周りに何も無い、田舎の学校なのでありがたかったです。ビリヤード台・卓球台もあり、週末やテスト終わりのときには混みあうほどです。

3-5. その他

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

全寮制で、韓国人学生も留学生も同じ建物に入ります。開校時(2003年)に造られた寮と、新築寮(2012年竣工)があり、どちらもキャンパス内にあります。前者の方が講義棟から近く、学食ともつながっているため便利なのですが、快適性に関しては圧倒的に後者 新築寮の方が高いです。寮費は同一で、部屋割りはランダムなので、みんなドキドキです。ちなみに私は1学期(前期)も2学期(後期)も新築寮でラッキーでした。外国人と同室になることを希望してくれた韓国人学生がルームメイトになります。日本語学科があるため、日本人と一緒にいることを希望する学生が全くいないということはないと思います。それゆえ、我々(日本人)のルームメイトは高確率で日本語学習者です。日本語でも韓国語でも通じるので、コミュニケーション不足によるストレスのようなものは、幸せなことに感じたことはありません。冬がとても寒い韓国ですが、断熱はしっかりしており、オンドル(韓国式床暖房)も完備です。夏以外でも、日本のように厚いパジャマを着る必要がなく、快適でした。平日は学食生活とはいえ、キッチンがないのは少し辛かったです。お湯サーバー、電子レンジはありましたが。

4-2. 食生活について

学期の初めに月曜日～木曜日の学食費を納めるので、その曜日には3食学食で食べていました。週末も学食は営業しているのですが、週末に帰省したり外出する人も多いので、週末の学食費は事前に納めず、その都度払います。毎食3,500ウォン(≒350円)で、小中学校の給食のように、毎食のメニューは決まっています。週末は、学食か、配達か、外出か、という感じです。学校の周りにも一応食堂はあるのですが、徒歩で行こうかなと思えるのは実質1店だけです。2番目に近いお店は学校から3km、みどり台から千葉中央の距離とほぼ一致します。遠いですね。徒歩で行ったことはありません。配達で学校まで届けてもらったことは何度もあります。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

さすがはIT大国韓国、キャンパス内ならほぼどこにいても学内のWi-Fiがつかまります。また、寮の部屋の有線インターネットもかなり速いです。携帯電話は、出発前に日本のスマホのSIMロックを解除していき、現地でプリペイドのSIMカードを買いました。通話・SMS・データが使えて月1,000円程度でした。街中ではフリーWi-Fiをかなり拾えるので、SIMを買わなくてもなんとかなるかもしれませんが、銀行口座開設や韓国のサイトでアカウント登録などで電話番号が必要になるので、私は↑自分のやり方をおすすめします。

4-4. 服装について

夏は日本と変わりません。ただ、韓国には寒く長い冬があるため、暖かい服は多めに必要かと思えます。11月下旬には雪が降り出しました。

4-5. 健康管理について

学食では野菜を多めに摂ったり、夜更かしを控えたり、基本的なことをしていました。一度風邪をひき、大学の保健室と町の保健所にお世話になりました。6月頃にはMERSが韓国国内での感染が広がり、国を挙げて予防・蔓延防止に取り組んでいました。大学内でも学生の体温を計ったり、マスクを配布したり、手の消毒機を各建物に配置するなど、努力がみられました。街から離れた田舎の大学ということもありますが、感染者を出すことなく1学期を終えることができました。

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

病院にかかることも、携行品を破損することもなく、保険は掛け捨てに終わりました。(なによりです)

4-7. 課外活動について

厳密には語学堂(韓国語学校)の授業の一環なのですが、月に1回程度、留学生で文化体験に出かけました。金剛大は仏教系の大学で、5月には宗派の総本山である大きなお寺で2泊3日のテンプルステイ(修行宿泊)をしました。11月には陶芸の町でろくろを使わない陶芸体験がありました。観光旅行では行きにくいところ、行けないところに行くことができ、貴重な体験となりました。田舎の大学ゆえ、周りに職がなく、バイトはできません。代わりに、大学のパートナーシッププログラムという、韓国人学生に外国語(日本人なら日本語)を教えるプログラムで謝礼金(月18,000円程度)を得ていました。韓国語で日本語を教えるだけでなく、文化・社会の違いについて語り合うことができ、担当した学生と友情・信頼関係も生まれました。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

他コミュニティとの交流は、地理的にどうしても難しいものがありました。それでも、ルームメイトが受講していた学外の特別講義を聴講させてもらったりと、大学プラスアルファで得られるものは多少はありました。

4-9. 日本から持参してよかったもの

チョコ(日本のものは美味しい)、マグカップ、洗濯ハンガー(靴下や下着を干す洗濯ばさみがたくさん付いているアレ)、カップ麺、『地球の歩き方』

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

衣類の一部(持って行きすぎた)、電子辞書(スマホの方が使いやすく、情報量も多かった)、風邪薬以外の常備薬

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

目上の人(先生、先輩、お年寄り)に対する敬い方・敬語の使い方は日本以上のものがあると思います。私が特に気になったのは街のお年寄り(特に地下鉄やバス内)です。日本では「席を譲る＝親切だ」という印象があるかと思いますが、韓国では「我々 高齢者は敬われるべき、譲られるべきで、席を譲るのは当然の行為。譲らないとはけしからん」(お年寄り視点で)というイメージです。決して言葉で聞いたわけではありませんが、生活しているうちに非言語的に感じる、察するものがあります。”若い人が”「お年寄りを敬う」というよりかは、”お年寄りが”「我々は敬われるべき」という方向で発信する、お年寄りが強すぎる社会なのではないかと考えました。 人と人の距離は近いです。友人なら、肩を叩いてきたり、というのは日常。全寮制だったということもありますが、仲良くなると、かなり深く長い友情が築けました。帰国後も毎日のように連絡を取り合っています。ただ、韓国の方はシャイなところもあるので、日本人同様「学科」「サークル」「パートナーシッププログラム」といった共通のコミュニティに属することは重要です。同じ授業というだけで仲良くなるチャンスは少ないかと思います。アプローチのしかたにもよりますが。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

お疲れ様でした